

MIXING CONSOLES

F12XR

USER MANUAL

HIGH PERFORMANCE
PROFESSIONAL
COMPACT LIVE MIXER





目次

目次	2
安全にお使いいただくために	3
修理 / 保証 / サポートについて	5
製品について	6
各部の名称と機能	7
接続例	14
製品スペック	16



安全にお使いいただくために

必ずお守りください

あなたや周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

万が一、異常が起きた場合



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード / プラグが破損した場合
- ・製品内部に異物や水が混入した場合
- ・製品から煙や異常なおおいが発生した場合
- ・製品に損傷や亀裂が生じた場合

そのまま使用を続けると、故障、火災、感電の原因となる場合があります。使用を中止し、お買い上げの販売店または音響特機サービスセンターへ連絡をしてください。

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源コードは安全に配置する。

- ・ストーブなどの熱源に近づけない。
- ・無理な配線をしない。
- ・傷つけない。
- ・重量物をのせない。



必ず実行

電源コードは必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。付属の電源コードは日本国内専用です。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

故障、火災、感電などの原因になります。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、火災、感電などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりを拭き取る。

故障、火災、感電などの原因になります。定期的にはほこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に挿し込む。

故障、火災、感電などの原因になります。定期的にはほこりを拭き取ってください。



必ず実行

長時間使用しない時や落雷の危険があるときは電源プラグを抜く。

故障、火災、感電などの原因になります。



必ず実行

電源スイッチに手が届くように設置をする。

本製品のリアパネルには電源を遮断する電源スイッチが付いています。電源スイッチに容易に手が届き、操作できるように設置してください。

火気や水に注意する



禁止

濡れた手で電源プラグに触らない。

感電などの原因になります。



禁止

機器の上に花瓶や水などの液体が入った容器を置かない。

内部に混入した場合、故障、火災、感電などの原因になります。



禁止

本製品の近くで火気を使用しない。

火災などの原因になります。

音量に注意する



必ず実行

他の機器と接続するときは本製品の電源を切る。

機器の故障または聴覚障害の原因になります。



禁止

大音量で使用しない。

機器の故障または聴覚障害の原因になります。



必ず実行

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品

および接続している機器の音量を最小にする。

機器の故障または聴覚障害の原因になります。



禁止

長時間にわたってヘッドフォンで大きな音量を

聴かない。

聴覚障害の原因になります。

分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。
故障、火災、感電、けがなどの原因になります。
本製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部
品はありません。また製品内部を開いた場合、保
証対象外となります。

接続について



必ず実行

接地接続は必ず、電源プラグをコンセントに挿
し込む前に行う。また、接地接続の取り外しは、
必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行
う。

故障、火災、感電、けがなどの原因になります。
本製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部
品はありません。また製品内部を開いた場合、保
証対象外となります。



必ず実行

電源プラグは設置されている適切なコンセント
に接続する。

故障、火災、感電などの原因になります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをする
と、傷害を負ったり、機器の損傷につながる
可能性が想定される内容です。

設置と接続



禁止

不安定な場所に設置しない。

本製品が落下・転倒し、故障、けがなどの原因に
なります。



禁止

高温になる場所に設置しない。

故障、火災、けがなどの原因になります。直射日
光が当たる場所や、熱を発するものの近くは避け
てください。



必ず実行

本製品を移動するときは、すべての接続ケーブ
ルを外す。

故障、けがなどの原因になります。またケーブル
が破損したり、ほかの人々がけがをする可能性が
あります。



必ず実行

十分な空気循環がある場所に設置する。

ほこりにより内部の部品が故障したり、火災など
の原因になります。

取り扱い



禁止

ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加
えない。

故障、けがなどの原因になります。



必ず実行

本製品をお手入れするときは、必ずコンセント
から電源プラグを抜く。

感電などの原因になります。



禁止

本製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりし
ない。

故障、けがなどの原因になります。



必ず実行

使用後は必ず電源スイッチをオフにする。

長時間電源をオンにしたままにすると、故障の原
因になる場合があります。



必ず実行

ファンタム電源は適切に操作する。

ファンタム電源は対応するコンデンサーマイクを
接続したときだけ供給してください。ファンタム
電源スイッチは接続しているアンプをミュートし
てから操作してください。



修理 / 保証 / サポートについて

修理について

日本国内仕様の RCF 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。RCF 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。

- ・ 弊社ホームページ（www.otk.co.jp）の「修理依頼」より「REPAIR カード」をダウンロードしてください。「REPAIR カード」に必要事項をご記入の上、FAX（03-5534-6783）もしくはメール（support@otk.co.jp）でお送りください。折り返し修理受付番号と製品送付先のサービスセンターが記載された修理受付表を FAX もしくはメールにて返送致します。修理受付番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- ・ オーナーズマニュアルは同梱しないでください。修理には必要ありません。
- ・ 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- ・ 修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを必ず同梱してください。また送り状の通信欄にも、修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。修理受付番号のない修理品は受付できません。
- ・ 修理状況によっては見積もり金額が変動する場合があります。
- ・ 修理をキャンセルした場合、キャンセル料が発生する場合があります。予めご了承ください。

保証

本機の保証期間はご購入日より 1 年です。

保証期間内に正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- ・ お買い上げ後の輸送 / 移動 / 落下などによる故障および損傷
- ・ ご使用上の誤りおよび弊社の認可していない修理や改造による故障および損傷
- ・ 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷
- ・ 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障および損傷
- ・ 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- ・ 日本国外でご使用中の故障、損害

サポート

この製品の使用方法などに関するお問い合わせは、弊社ウェブサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

音響特機株式会社 お問い合わせフォーム

<https://www.otk.co.jp/contact.html>

故障や修理についてのお問い合わせは以下の通りです。

音響特機サービスセンター

〒136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1 階 B 棟

株式会社日本システムサービス内

TEL: 03-5534-6782

FAX: 03-5534-6783

Email: repair@otk.co.jp

営業日：月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：30

休業日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

製品について

この度は RCF / F ミキサーシリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

F12XR はさまざまなソースからの複数のオーディオ信号を正確に処理するために必要な機能を全て備えた、汎用性の高いオーディオミキサーです。

クリアなサウンド

RCF のミキシングコンソールは、RCF のプロフェッショナルな「サウンドカルチャー」の伝統に、革新的なデザインを組み合わせたものです。RCF のミキシングコンソールは、クリアなサウンド、正確なダイナミクス、そして情熱を持ったプロフェッショナルオーディオエンジニアにより開発された汎用性の高い機能が特長です。RCF のミキシングコンソールは、RCF のアクティブスピーカーと完璧にマッチするように設計されています。

高い信頼性

RCF のミキシングコンソールは、開発中に 4 つの品質テストを行っています。また出荷前には 1 台ずつ試験テストを行い、本体に目視できる傷やへこみがなくとも確認します。お客様の手元に届くのは、数々のチェックをクリアした高い信頼性が確保されている製品です。

設計

RCF のミキシングコンソールは、イタリア独特のセンスと創造性を、現代的で人間工学に基づいたデザインにパッケージしました。印象的なデザインながらも、慣れ親しんだオーディオミキサーの形状を基盤としているため、誰もが直感的に操作できます。

主な特長

F12XR はさまざまなソースからの複数のオーディオ信号を正確に処理するために必要な機能を全て備えた、汎用性の高いオーディオミキサーです。F12XR は内蔵している PRO DSP FX で、16 種類のプリセットエフェクトを使用できます。10 種類のリバース、3 種類のディレイ、3 種類のモジュレーションエフェクトを取り揃えています。

F12XR オーディオ入力

- Ch.1 から Ch. 6 : 独立した XLR マイク入力端子と TRS フォンライン入力端子 (3 バンド EQ)
- Ch. 5/6 および Ch. 7/8 : 2 つの TRS フォン端子のラインレベルステレオ入力 (3 バンド EQ)
- Ch. 9/10 および Ch. 11/12 : RCA 端子または 2 つの TRS フォン端子のラインレベルステレオ入力 (2 バンド EQ)

F12XR オーディオ出力

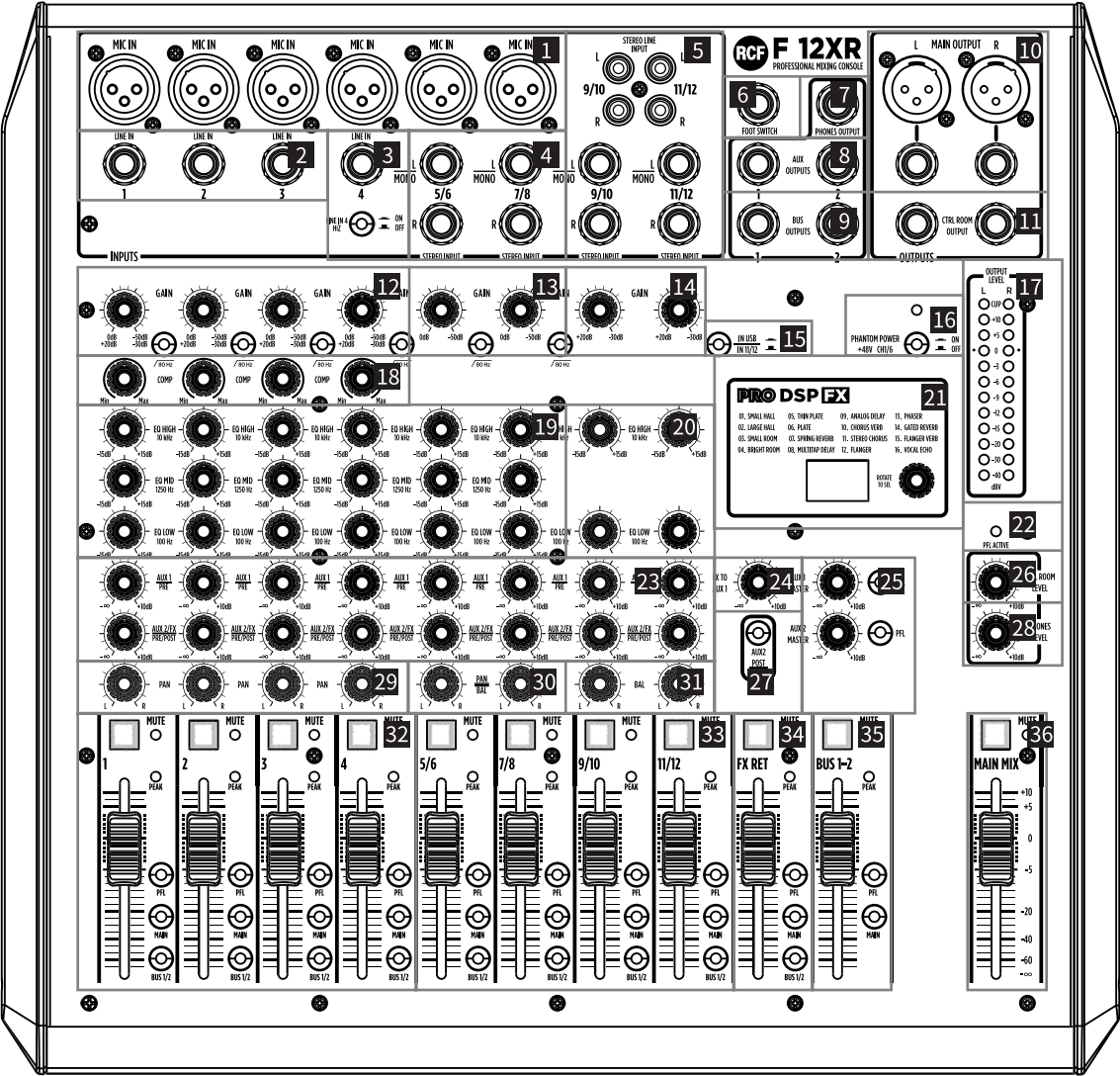
- MAIN MIX : XLR オス端子または TRS フォン端子のメインステレオ出力
- CONTROL ROOM OUTPUT : TRS バランスフォン端子の出力
- 2 つの AUX OUTPUT : TRS バランスフォン端子
- FOOT SWITCH : TS フォン端子のエフェクト起動・停止を行うフットコントロール用端子 (※フットスイッチ別売)
- PHONES OUTPUT : ヘッドフォン出力用のステレオフォン端子
- コンピューター接続用の USB ポート (ステレオレコーディング & プレイバック)
- 内部電源 : 100V - 240V, 50 - 60Hz, 40W

寸法と質量

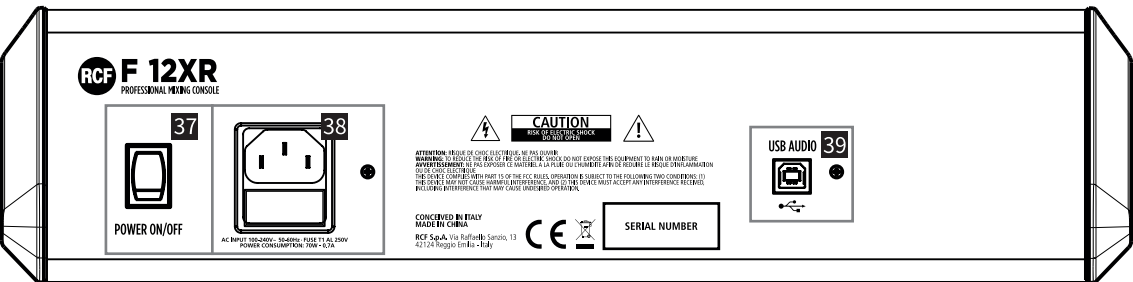
- 寸法 : H97 × W373 × D355 mm
- 質量 : 4.5 kg

各部の名称と機能

フロントパネル



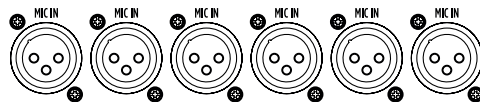
リアパネル



フロントパネルの機能

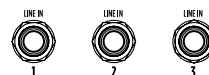
[1] MIC IN / モノラルマイク入力端子 (Ch.1 ~ Ch.6)

F12XR は 6 つの XLR モノラルマイク入力端子を搭載しています。マイクは必ずこの XLR 端子に 3 ピンマイクケーブルで接続してください。フォン端子はマイクレベルに対応していません。ゲイン幅は 0 dB から -50 dB の間で調節できます。すべての MIC IN/LINE IN 端子には 80 Hz のハイパスフィルターのオン / オフ切り替えスイッチが付いています。80 Hz のハイパスフィルターが有効になることで、マイクからの低域ポップ音や突発的なノイズを減らすことができます (詳細は [12][13] をご参照ください)。また、48V のファンタムパワーを MIC IN1 から MIC IN 6 の XLR 端子に供給できます。これにより 48V のファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクや、DI ボックスを使用できます (詳細は [16] をご参照ください)。



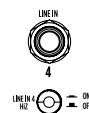
[2] LINE IN / モノラルライン入力端子 (Ch.1 ~ Ch.6)

ラインレベルの信号を入力できる TRS フォン端子です。ゲイン幅は +20 dB から -30 dB の間で調節できます。



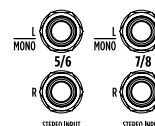
[3] LINE IN 4 / Hi-Z 入力対応 (Ch.4)

LINE 入力の Ch.4 は、用途に応じて切り替え可能な Hi-Z 入力機能を搭載しています。レベルの低いエレキギターやアコースティックギター、パッシブピックアップタイプのベースなどを直接接続する際には、このボタンを押し込んでください。



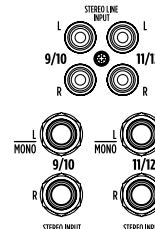
[4] STEREO LINE INPUT / ステレオライン入力端子 (Ch.5/6 & Ch.7/8)

Ch.5/6 および Ch.7/8 には TRS フォン端子のステレオライン音源を入力できます。モノラル音源を使用する場合は、Ch.5 (L) もしくは Ch.7 (L) の TRS フォン端子へ接続してください。



[5] STEREO LINE INPUT / ステレオライン入力端子 (Ch.9/10 & Ch.11/12)

Ch.9/10 および Ch.11/12 には RCA 端子もしくは TRS フォン端子のステレオライン音源を入力できます。モノラル音源を使用する場合は、Ch.7 (L) もしくは Ch.9 (L) の TRS フォン端子へ接続してください。



[6] FOOT SWITCH / フットスイッチ端子

フットスイッチを接続する TS フォン端子です。内部エフェクトのオン / オフを切り替える際に使用します。フットスイッチによりエフェクトがミュートされると、FX RET ボタンの右にある赤色の LED が点灯します (詳細は [34] をご参照ください)。赤色 LED が点灯している状態の場合、フットスイッチをもう一度踏むか、FX RET MUTE ボタンを押すことで、エフェクトを有効化できます。

※フットスイッチは別売です。ラッチタイプのフットスイッチを使用してください (推奨: BOSS FS-5L)。



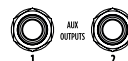
[7] PHONES OUTPUT / ヘッドフォン出力端子

ここにお持ちのヘッドフォンを接続して、MAIN MIX もしくは PFL (プリフェーダー) 音源を聴くことができます。聴覚を保護するため、お持ちのヘッドフォンをこの端子に接続する前に、必ず PHONES LEVEL ノブ ([28]) を下げきってください。



[8] AUX OUTPUT / AUX 出力端子

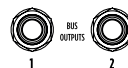
AUX センドからのバランスオーディオ信号を +4 dBu のラインレベルで出力する TRS 端子です。パワードステージモニターの入力端子や外部エフェクターの入力端子に接続します。



フロントパネルの機能

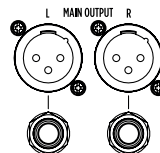
[9] BUS OUTPUT / BUS 出力端子

BUS1 と 2 からのバランスオーディオ信号を +4 dBu のラインレベルで出力する TRS 端子です。BUS OUTPUT の信号レベルは、BUS1/2 LEVEL フェーダーで調節できます (詳細は [35] をご参照ください)。



[10] MAIN OUTPUT / メイン出力端子

ミキサーの最終段の音を +4 dBu のラインレベルで出力する XLR オス端子です。これらの L/R の端子にメインのパワーアンプ、パワードスピーカー、エフェクトプロセッサーなどを接続します。オーディオレベルは MAIN MIX ロータリーノブで調節できます (詳細は [36] をご参照ください)。XLR 端子の L/R MAIN OUTPUT への信号は、L/R の TRS フォン端子にも複製されます。



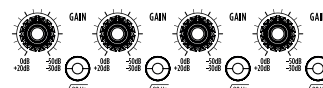
[11] CTRL ROOM OUTPUT / コントロールルーム出力端子

スタジオモニターなどローカルのリスニングシステムに出力するためのバランス TRS フォン端子です。CTRL ROOM OUTPUT の信号レベルは、CTRL ROOM LEVEL ノブで調節できます (詳細は [26] をご参照ください)。



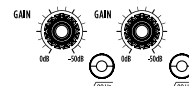
[12] GAIN / ゲインノブ (Ch.1 ~ Ch.4)

Ch.1 から Ch.4 のゲインを調節するノブです。XLR 端子にマイクが接続されている場合、0 dB から -50 dB の間でゲインを調節できます。TRS 端子にラインレベルの信号が入力されている場合、+20 dB から -30 dB の間でゲインを調節できます。すべての MIC IN/LINE IN チャンネルには 80 Hz のハイパスフィルターのオン / オフ切り替えスイッチが付いています。80 Hz のハイパスフィルターが有効になることで、マイクからの低域ポップ音や突発的なノイズを減らすことができます。



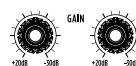
[13] GAIN / ゲインノブ (Ch.5/6 & Ch.7/8)

Ch.5/6、Ch.7/8 のゲインを調節するノブです。XLR 端子にマイクが接続されている場合、0 dB から -50 dB の間でゲインを調節できます。TRS 端子に入力されるラインレベル信号の入力ゲインは、このノブでは調節できません。



[14] GAIN / ゲインノブ (Ch.9/10 & Ch.11/12)

Ch.9/10、Ch.11/12 のゲインを調節するノブです。+20 dB から -30 dB の間でゲインを調節できます。



[15] IN USB - IN 11/12 / USB・LINE 音源切り替えスイッチ

このスイッチを押し込むと、USB ケーブルで接続された外部コンピューターからのステレオ音源を、Ch.11/12 に割り当てることができます。スイッチが押し込まれていない状態だと、入力 Ch.11/12 の RCA 端子もしくは TRS フォン端子に物理的に接続されているラインレベルの信号が、MAIN MIX に割り当てられます。スイッチを押してコンピューターからの信号を取り込む場合、Ch.11/12 に物理的に接続されている信号は無効化され、EQ や AUX センド、BAL など全てのノブコントロールがコンピューターからの信号に作用します。コンピューターの USB アサイン方法の詳細は [38] をご参照ください。



[16] PHANTOM POWER / ファンタム電源スイッチ (※一括供給)

Ch.1 から Ch.6 の XLR 端子に接続されているマイクに +48V のファンタム電源を供給します。これによりコンデンサーマイクやエレクトレットマイク、もしくはイベント時に使用する DI ボックスにファンタム電源を供給できます。スイッチを押し込むことでオン、上がっている状態だとオフとなります。オンの場合、スイッチ下の赤色 LED が点灯します。

※注意：このスイッチがオンになっている場合、絶対にケーブルの抜き差しを行わないでください。本体、または接続機器の故障原因となる場合があります。またファンタム電源を供給しても問題のない機器のみ接続してください。ファンタム電源に対応しない機器を XLR 端子に接続しファンタム電源を供給した場合、接続機器の故障原因となる場合があります。



フロントパネルの機能

[17] OUTPUT LEVEL / 出力レベルメーター

MAIN MIX から出力されるレベルを視認できます。歪みを発生させるオーバーロード信号を避けるため、メーターの最も上部の赤色 LED (CLIP) が点灯しないように調節してください。



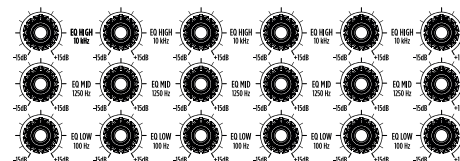
[18] COMP / コンプレッサーノブ

Ch.1からCh.4には、シングルノブタイプのパワフルなコンプレッサーが搭載されています。F12XRのコンプレッサーはスレッシュホールドとレシオのパラメーターが最適な値になるよう設計されており、ダイナミックな信号でも確実に制御できます。



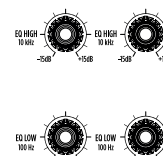
[19] EQ / 3 バンド EQ ノブ (Ch.1 ~ Ch.7/8)

Ch.1 から Ch.7/8 には 3 バンドの精密な EQ が搭載されています。EQ LOW ノブは 100 Hz に設定され、+/-15 dB までブーストまたはカットできるシェルピングタイプの EQ です。EQ HIGH ノブは 10 kHz に設定され、+/-15 dB までブーストまたはカットできるシェルピングタイプの EQ です。EQ MID ノブは 1250 Hz に設定され、+/-15 dB までブーストまたはカットできるベルタイプの EQ です。



[20] EQ / 2 バンド EQ ノブ (Ch.9/10 & Ch.11/12)

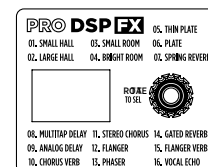
ステレオチャンネル (Ch.9/10 および Ch.11/12) には HIGH と LOW の 2 バンドの EQ が搭載されています。EQ HIGH ノブは 10 kHz に設定され、+/-15 dB までブーストまたはカットできるシェルピングタイプの EQ です。EQ LOW ノブは 100 Hz に設定され、+/-15 dB までブーストまたはカットできるシェルピングタイプの EQ です。



[21] PRO DSP FX / 内蔵エフェクト

F12XR は 16 種類のエフェクトを搭載したボードを内蔵しています。ノブを回すことで、16 種類のエフェクトの中から選択できます。10 種類のリバーブ、3 種類のディレイ、3 種類のモジュレーションエフェクトを取り揃えています。詳細は下記リストをご参照ください。

好みのエフェクトを見つけて、あなたのサウンドをより豊かなものにしましょう。



- | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 01. SMALL HALL | 02. LARGE HALL | 03. SMALL ROOM |
| 04. BRIGHT ROOM | 05. THIN PLATE | 06. PLATE |
| 07. SPRING REVERB | 08. MULTITAP DELAY | 09. ANALOG DELAY |
| 10. CHORUS VERB | 11. STEREO CHORUS | 12. FLANGER |
| 13. PHASER | 14. GATED REVERB | 15. FLANGER REVERB |
| 16. VOCAL ECHO | | |

[22] PFL ACTIVE LED / プリフェーダーリッスン LED

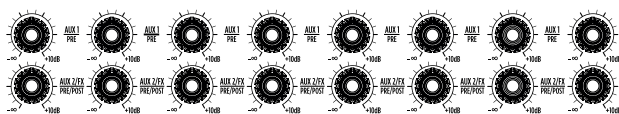
この LED が点灯しているとき、1 つまたは複数の PFL スイッチがオンになっていることを表します。



フロントパネルの機能

[23] AUX 1 - AUX 2/FX ノブ

各チャンネルから AUX1、AUX 2/FX に送られる信号のレベルをそれぞれ調節します。F12XR の各入力チャンネルには 2 種類の AUX センドが搭載されています。AUX 1 はプリフェーダー（フェーダー調節前の信号）です。AUX 2/FX は PRO DSP FX（内蔵エフェクト）ボードに送られます。AUX 2/FX は、AUX 2/FX PRE/POST スイッチ（[27]）でプリフェーダー（フェーダー調節前の信号）とポストフェーダー（フェーダー調節後の信号）のどちらを出力するのか選択できます。スイッチをオンにする（押し込む）ことでプリフェーダーとなり、チャンネルからの信号はフェーダーの影響を受けません。スイッチをオフにすることでポストフェーダーとなり、チャンネルからの信号はフェーダーの影響を受けます。AUX 2/FX の信号は、内蔵エフェクトに加えて AUX OUTPUT [8] にも送られます。



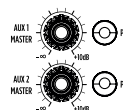
[24] FX TO AUX 1 ノブ

内蔵エフェクトから AUX 1 に出力される信号のレベルを調節します。



[25] AUX 1/AUX 2 MASTER ノブ

AUX 1、AUX 2/FX に出力されるマスターの信号レベルを調節します。またノブの隣にある PFL スイッチをオンにする（押し込む）と、チャンネルフェーダー調節前の AUX OUT の信号を、CTRL ROOM OUTPUT（[11]）と PHONES OUTPUT（[7]）でモニターできます。



[26] CTRL ROOM LEVEL ノブ

CTRL ROOM OUTPUT 端子 [11] の出力レベルを調節するノブです。通常使用時には、MAIN MIX と同様の信号が CTRL ROOM OUTPUT から出力されます。1 つまたは複数の PFL スイッチがオンになっている場合、各チャンネルのプリフェーダー信号が CTRL ROOM OUTPUT と PHONES OUTPUT から出力されます。



[27] AUX 2 PRE/POST スイッチ

AUX 2/FX からプリフェーダー（フェーダー調節前の信号）とポストフェーダー（フェーダー調節後の信号）のどちらを出力するのか選択できます（詳細は [23] をご参照ください）。



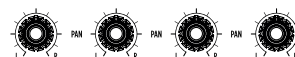
[28] PHONES LEVEL ノブ / ヘッドフォン出力レベルノブ

PHONES OUTPUT [7] のレベルを調節するノブです。聴覚を保護するため、お持ちのヘッドフォンを PHONES OUTPUT 端子に接続する前に、必ず PHONES LEVEL ノブを下げてください。



[29] PAN ノブ（Ch.1 ~ Ch.4）

MAIN MIX に送る各モノラルチャンネル信号の音量バランスを調節し、音像を左右（L/R）のどの位置に定位させるかを決定します。



[30] PAN/BAL ノブ（Ch.5/6 & Ch.7/8）

XLR 端子を使用したモノラルのマイク信号が入力されている場合、音像を左右（L/R）のどの位置に定位させるかを決定します。2 つの TRS フォン端子を使用したステレオ信号が入力されている場合、MAIN MIX に送るステレオ信号の音量バランスを決定します。



[31] BAL ノブ（Ch.9/10 & Ch.11/12）

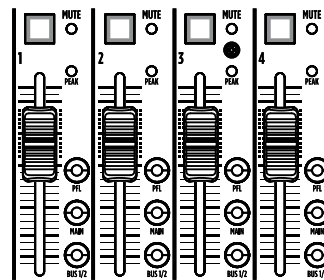
このノブで、MAIN MIX に送られるステレオチャンネル信号の左右バランスを調節できます。それぞれのステレオ入力チャンネルの信号レベルを調節できます。



フロントパネルの機能

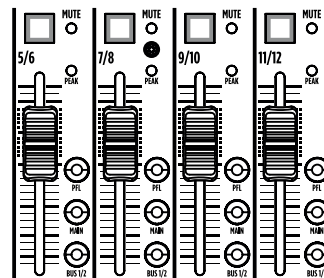
[32] モノラルチャンネルフェーダーセクション

Ch.1 から Ch.4 の信号レベルを調節し、チャンネル間の音量バランスを調節します。それぞれのチャンネルには1つのフェーダーといくつかのコントロールスイッチが搭載されています。MUTE ボタンをオンにする（押し込む）とLED が点灯し、該当チャンネルの信号が各出力系統に送られなくなります。また PFL スイッチをオンにする（押し込む）と、チャンネルフェーダー調節前の信号を、CTRL ROOM OUTPUT ([11]) と PHONES OUTPUT ([7]) でモニターできます。MAIN スイッチや BUS 1/2 スイッチをオンにする（押し込む）ことで、該当チャンネルの信号を MAIN MIX や BUS OUTPUT に出力します。



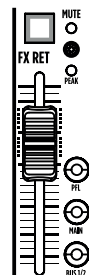
[33] ステレオチャンネルフェーダーセクション

Ch.5/6 から Ch.11/12 のステレオ信号レベルを調節し、チャンネル間の音量バランスを調節します。また PFL スイッチをオンにする（押し込む）と、チャンネルフェーダー調節前の信号を、CTRL ROOM OUTPUT ([11]) と PHONES OUTPUT ([7]) でモニターできます。MAIN スイッチや BUS 1/2 スイッチをオンにする（押し込む）ことで、該当チャンネルの信号を MAIN MIX や BUS OUTPUT に出力します。



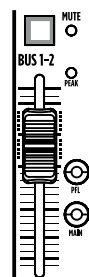
[34] FX RET フェーダー

このフェーダーで、PRO DSP FX（内蔵エフェクトボード）からの信号レベルを調節できます。MUTE ボタンをオンにする（押し込む）とLED が点灯し、信号が各出力系統に送られなくなります。また PFL スイッチをオンにする（押し込む）と、チャンネルフェーダー調節前の信号を、CTRL ROOM OUTPUT ([11]) と PHONES OUTPUT ([7]) でモニターできます。MAIN スイッチや BUS 1/2 スイッチをオンにする（押し込む）ことで、信号を MAIN MIX や BUS OUTPUT に出力します。



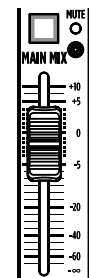
[35] BUS 1-2 フェーダー

BUS OUTPUT 端子から出力されるステレオ信号のレベルを調節します。BUS 1-2 は各入力チャンネルの BUS 1/2 スイッチによりアサインされたステレオ信号出力系統です。MUTE スイッチをオンにする（押し込む）とLED が点灯し、BUS OUTPUT から信号が出力されなくなります。また BUS 1-2 が MAIN MIX にアサインされている場合、MAIN MIX には送られなくなります。MAIN スイッチをオンにする（押し込む）と BUS 1-2 の出力が MAIN MIX に出力されます。また PFL スイッチをオンにする（押し込む）と、BUS 1-2 フェーダー調節前の信号を、CTRL ROOM OUTPUT ([11]) と PHONES OUTPUT ([7]) でモニターできます。



[36] MAIN MIX フェーダー

このノブで、最終的に MAIN OUTPUTS から出力される信号レベルを調節できます。



リアパネルの機能

[37] POWER ON/OFF スイッチ

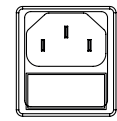
F12XR 本体の電源のオン / オフを切り替えます。



POWER ON/OFF

[37] AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。内部電源は 100V ~ 240V AC, 50-60 Hz です。



AC INPUT 100-240V ~ 50/60Hz FUSE T1.5AL 250V
POWER CONSUMPTION 10W ~ 5.5A

[38] USB タイプ B ポート

コンピュータと本機を接続する際に使用します。接続することで、MAIN MIX のステレオオーディオ信号をコンピュータに送ったり、コンピュータからの音源を再生したりできます。コンピュータと接続するためのドライバーは不要です。44.1/48.0 kHz - 16 ビットの PCM オーディオの録音・再生が可能です。接続されたコンピュータからのオーディオ信号は、チャンネル 11/12 に割り当てることができます（詳細は本マニュアルの [15] をご参照ください）。

本機は「USB AUDIO CODEC」として PC/Mac 上で認識されます。

Windows - コントロールパネル→サウンド→再生および録音の画面で「USB AUDIO CODEC」を選択してください。

MacOS - Finder→ユーティリティ→Audio MIDI 設定→オーディオ装置の入力、出力で「USB AUDIO CODEC」を選択してください。



USB AUDIO

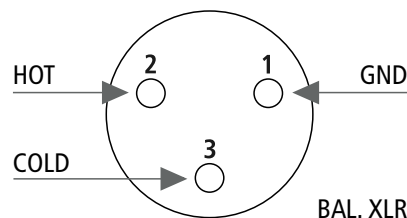
接続に関して

XLR 端子は AES により定められた以下の規格に基づいた配線となっています。

PIN 1 = グ라운드 (SHIELD)

PIN 2 = ホット (+)

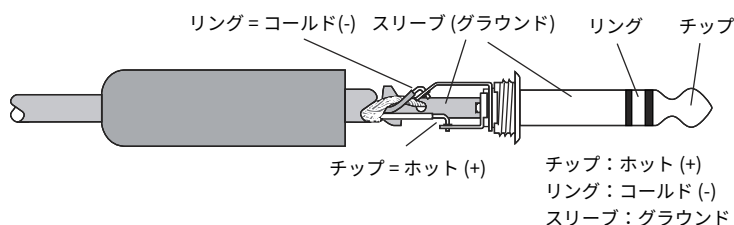
PIN 3 = コールド (-)



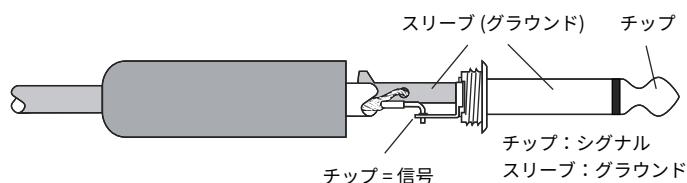
フォン端子のバランス / アンバランス配線は以下のとおりです。

フォン端子

バランス接続

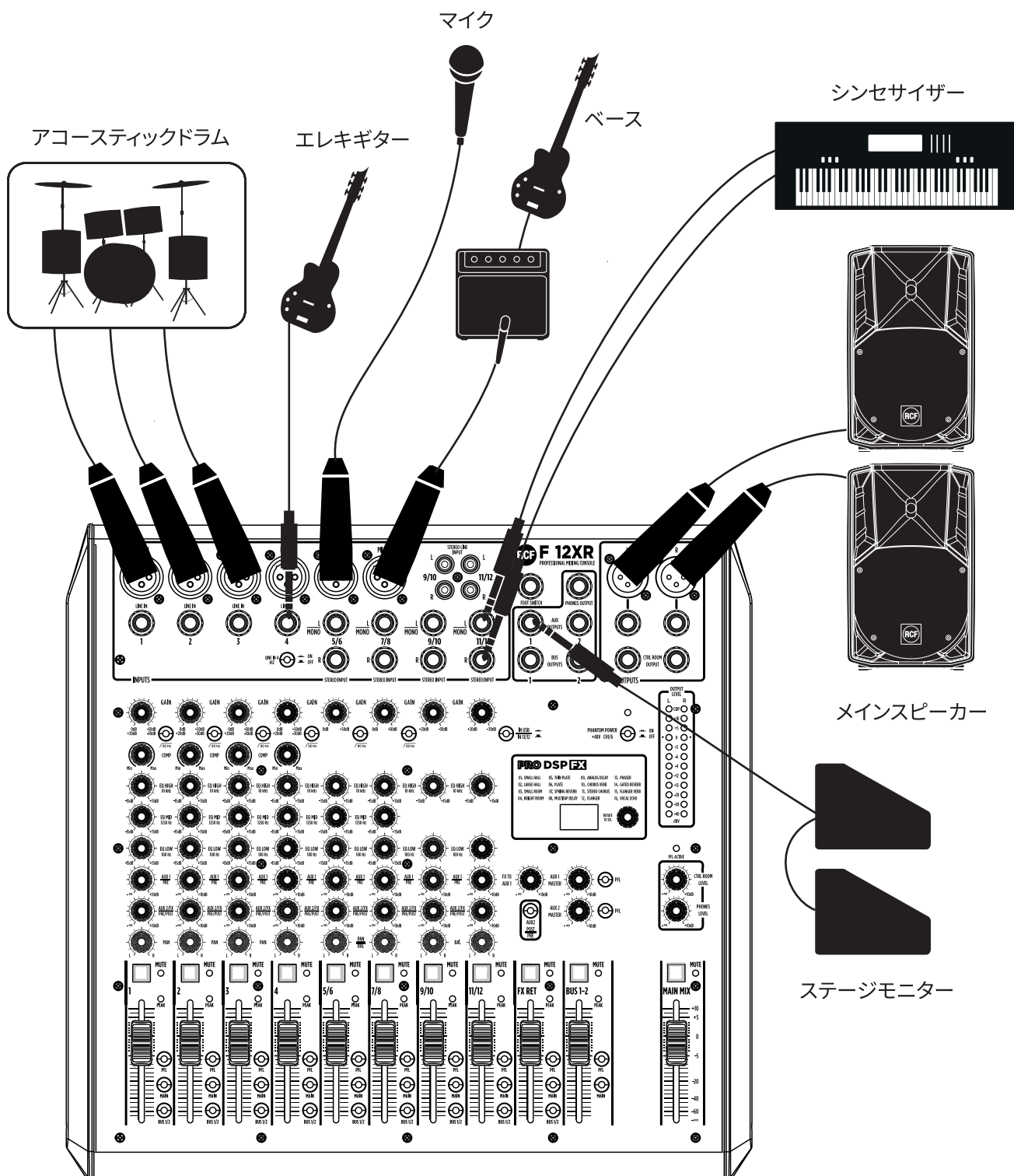


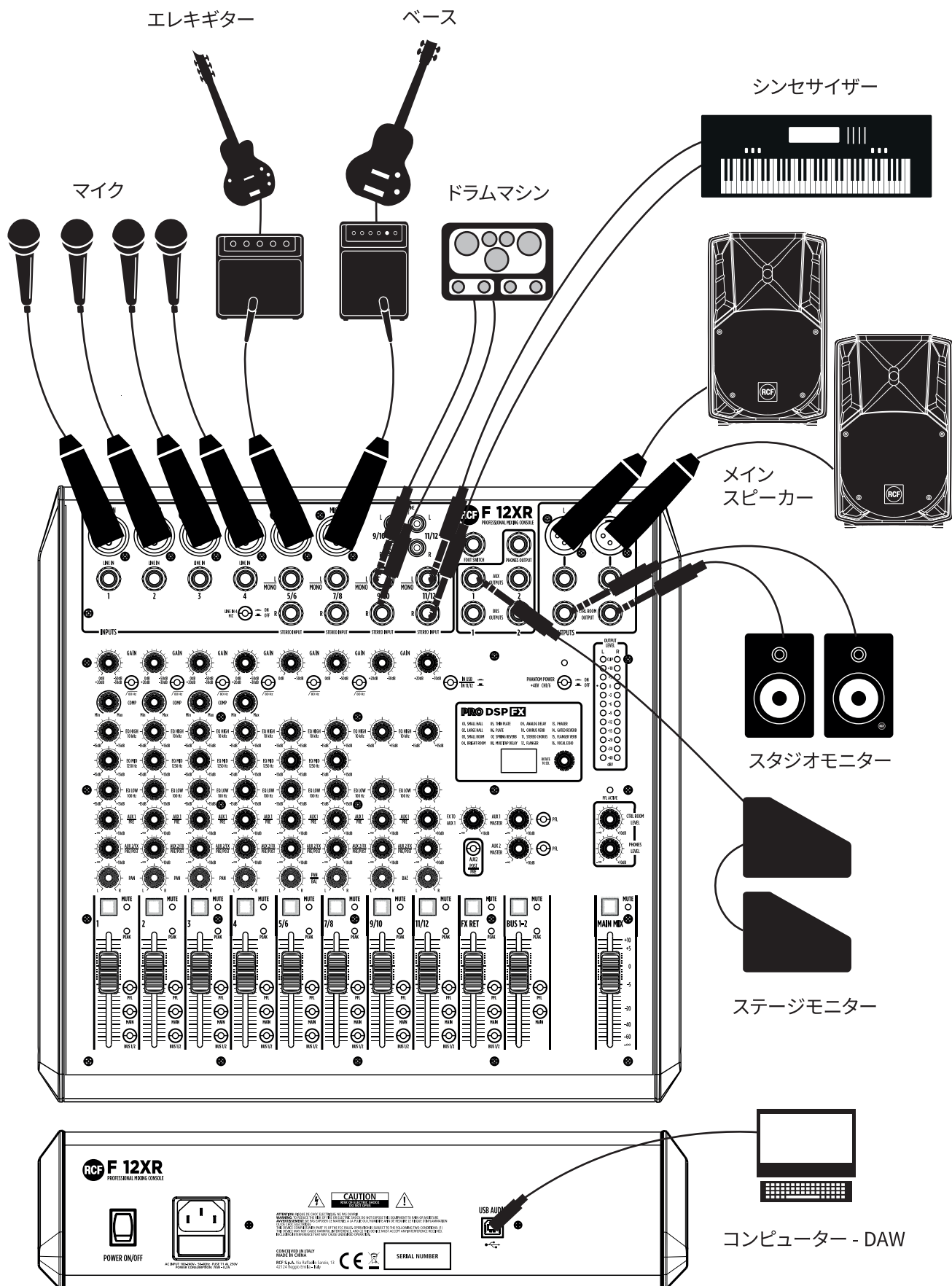
アンバランス接続



接続例

接続例 1

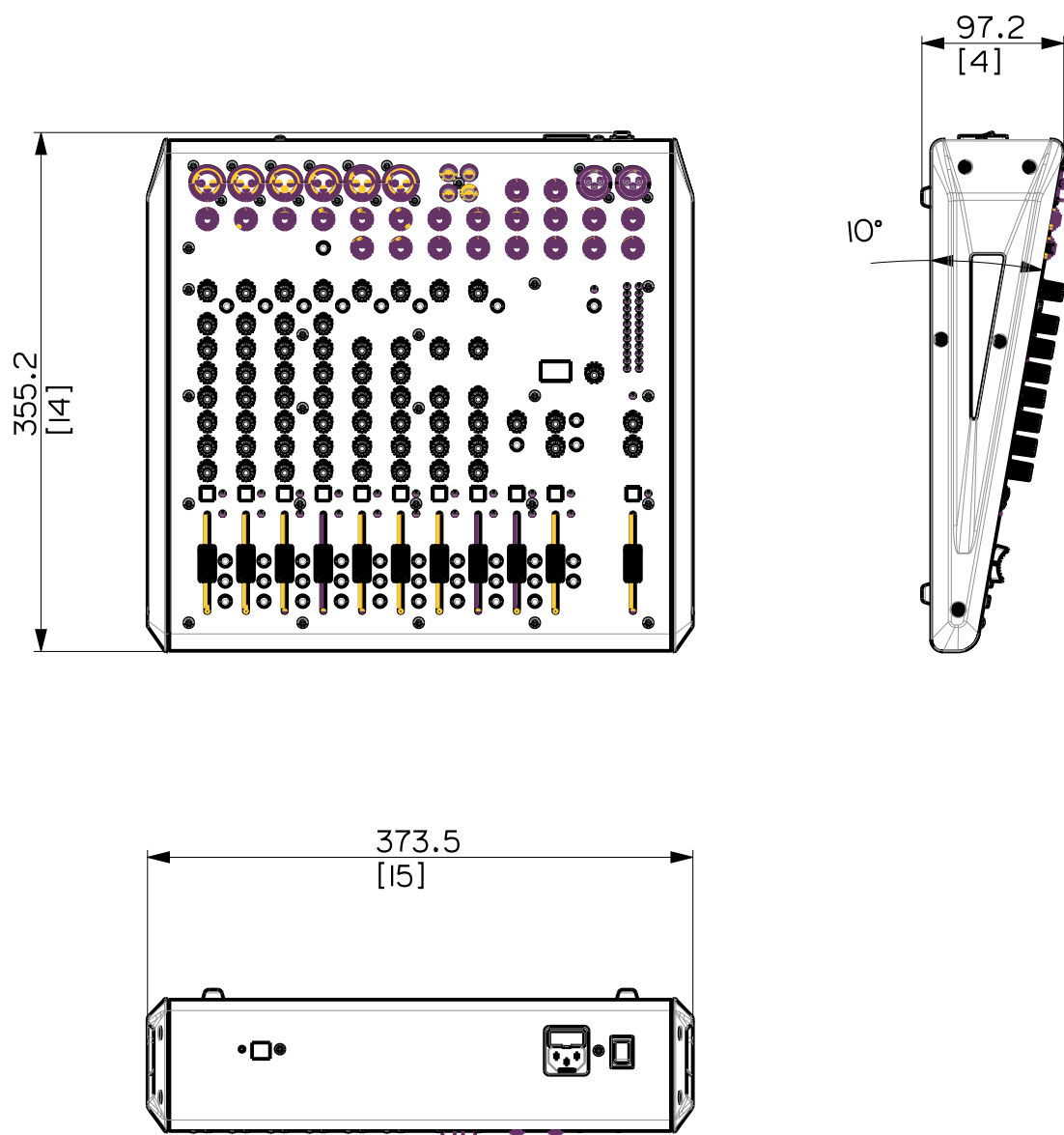




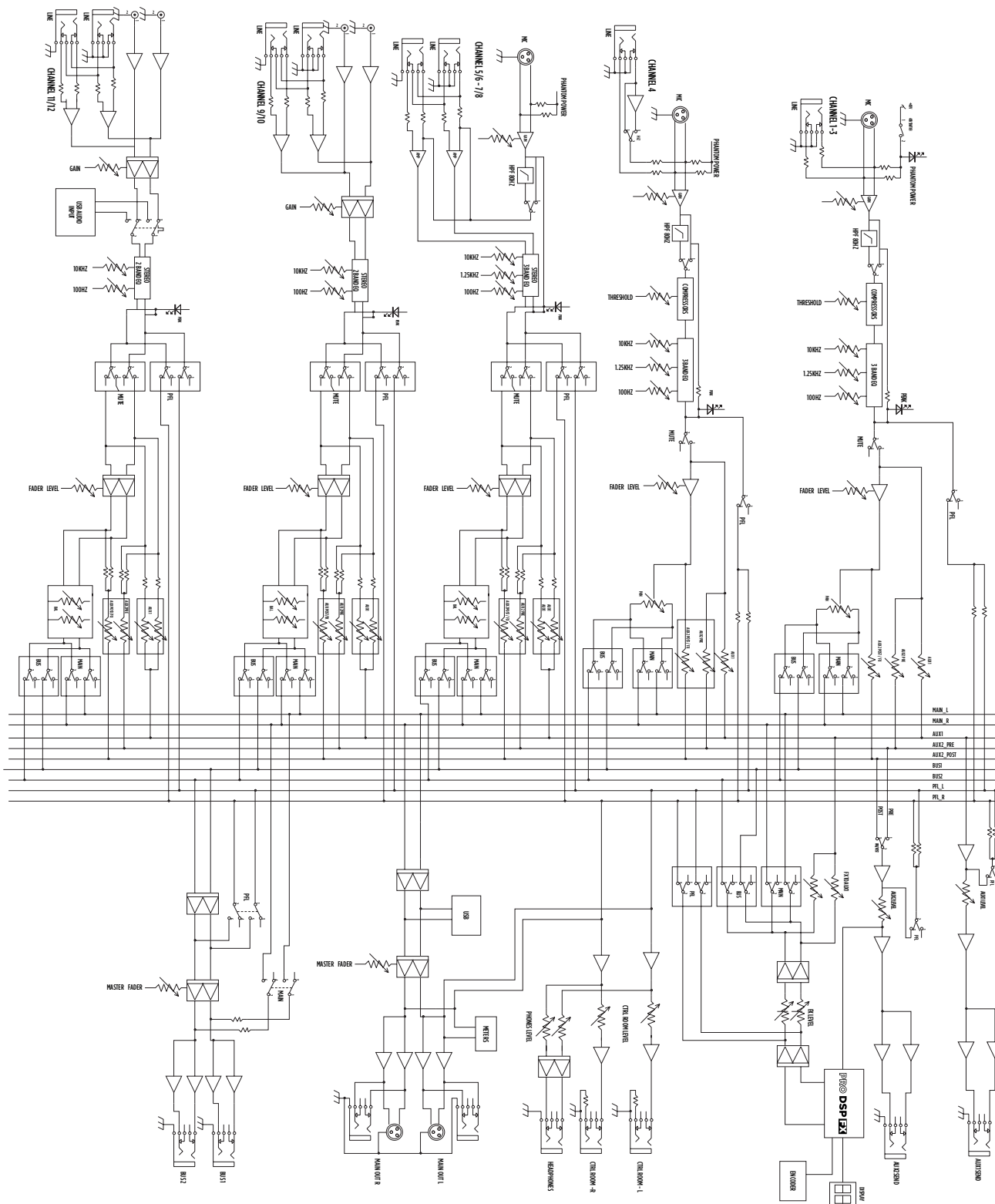


製品スペック

F12XR	
モノラル入力チャンネル	
マイク入力	XLR 端子 (バランス) × 6
周波数特性	20 Hz - 20 kHz, +/-1 dB
歪み (THD+N)	<0,003% at +0 dB, 20 Hz-20 kHz
感度範囲	0 dB ~ -50 dB
最大入力	+20 dBu
マイク入力インピーダンス	14 k Ω アンバランス
ファンタム電源	+48V
ローカット	80 Hz
ライン入力	TRS フォン端子 (バランス) × 4
周波数特性	20 Hz - 20 kHz, +/-1 dB
歪み (THD+N)	<0,003% at +0 dB, 20 Hz-20 kHz
感度範囲	20 dB to -30 dB
最大入力	+40 dBu
ライン入力インピーダンス	21 k Ω アンバランス
ステレオ入力チャンネル	
ライン入力	TRS フォン端子 (バランス) × 4 ペア, RCA 端子 (アンバランス) × 2 ペア
周波数特性	20 Hz - 20 kHz, +/-1 dB
歪み (THD+N)	<0,003% at +0 dB, 20 Hz-20 kHz
感度範囲	20 dB to -30 dB
ライン入力インピーダンス	15 k Ω
モノラルチャンネル EQ	
高域	+/-15 dB @ 10 kHz Shelving
中域	+/-15 dB @ 1,250 Hz Bell
低域	+/-15 dB @ 100 Hz Shelving
ステレオチャンネル EQ	
高域	+/-15 dB @ 10 kHz Shelving
低域	+/-15 dB @ 100 Hz Shelving
DSP セクション	
DSP プロセッシング	20/27 ビットデジタル信号
A/D および D/A コンバーター	24 ビット
エフェクトタイプ	4 アルゴリズム (reverb, chorus, delay, flanger) - 16 プリセット
フットスイッチ	対応 (エフェクトリターンミュート / ミュート解除用)
出力	
メイン出力	XLR オス端子 × 1 ペア / TRS フォン端子 × 1 ペア
最大メインミックス出力レベル	+28 dBu
AUX 出力	TRS フォン端子 × 2
最大 AUX 出力レベル	+28 dBu
BUS 出力	TRS フォン端子 × 2
CTRL ROOM 出力	TRS フォン端子 × 1 ペア
PHONES 出力	ステレオフォン端子 × 1
パワーサプライ	
内部電源	100V - 240V AC, 50-60Hz
消費電力	24W
物理仕様	
寸法 (H × W × D)	97 × 373 × 355 mm
質量	4.5 kg
梱包時寸法 (H × W × D)	140 × 400 × 425 mm
梱包時質量	5.5 kg



ブロックダイアグラム



~memo~

